核戦争防止・核兵器廃絶を求める福岡県医師・歯科医師の会

ニュースレターNO.81

発行:2013 年 8 月 10 日 * 反核医師の会をもう一回り大きくするため、ご友人などをおさそいください

(発行責任者) 岡本茂樹

(連 絡 先) 福岡県保険医協会内 電話:092-451-9025

福岡市博多区博多駅南 1-2-3

巻頭言

(世話人 熊谷芳夫)

【原発事故避難者に寄り添い健診や相談活動を続けよう】

7月24日、千代診療所被爆外来に東電福島第一原発の事故避難者が甲状腺の検査を目的に来院された。41歳のお母さんで6歳の息子さんは小児科を受診されました。

事故当時千葉県流山に住んでおられ、2011 年 3 月 15 日にスーパーや幼稚園に外出されていました。 3 月 21 日には実家のある飯塚に避難されましたが 1 ヵ月後に戻られて 2012 年 4 月にやっとご主人の転勤が認められ城南区に転居されました。内科の診察と甲状腺検査を含む血液検査と甲状腺エコーを実施し帰宅されました。

当院に来られたのは、息子さんの通っている幼稚園に避難者の方がいて、当院での事故避難者の健康相談や甲状腺エコー検診について知っていて口コミで紹介があったとのことでした。

このように当院では被ばく対策委員会をつくり、県内の他の医療機関と合同で 5 月 25 日に一回目の「原発事故により避難されている住民の方の甲状腺検診と相談・交流会」が行なわれ、甲状腺エコー検診は 58 名実施されました。そして 9 月 28 日に二回目の検診と相談・交流会が開催されます。

事故から 2 年以上たっても、経済困難や別居、離婚など家庭崩壊を抱えながら避難生活を送ってい

る原発事故被害者がいるの に収束宣言を出し再稼働に 突き進む安倍政権の経済優 先の姿勢は絶対に許せませ ん。

私たちは避難者に寄り添い検診や相談活動を続けると同時に「再稼働を許さない」の世論を夏から秋にかけて大いに盛り上げて行きたいと思います。

多くの医師の仲間がこ の活動に協力されるようお 願いします。



〔被ばく検診の全額負担を国・東京電力に訴える、被害者〕

【6-7月にかけての情勢について】

国際的な情勢

アメリカのオバマ大統領は 6/30 ドイツのベルリンに訪問した際に、配備済み戦略核の削減に関する新提案を発表しました。「正義に基づく平和とは、核兵器なしに世界の安全を追及することだ。いかに遠い夢であっても、だ」と配備済み核弾頭を 1000 発程度までに減らす削減目標をロシアに提案しました。ロシアとしては 11 年 2 月の新戦略兵器削減条約 (新 START) による合意内容の履行が先決との見方が主流のようです。

7/27 北朝鮮の首都ピョンヤンで行われた軍事パレードでは、放射線標識のようなマークが描かれた物体を胸に装着した兵士らが参加しました。技術的に小型の核兵器を保有しているというわけではないようですが、核兵器に関連した部隊が存在し、核保有をしていることを対外的に印象付けようとしているようです。



原発について

5 月の連休に安倍首相はアラブ首長国連邦、サウジアラビア、トルコを訪問し日本の原発を輸出するための原子力協定の交渉を開始しています。また 5/29 安倍首相はインドのシン首相と首相官邸で会談を行い、原子力協定を再開し、早期締結に向け交渉を加速する共同声明を行っています。5/3「日本の最高水準の(原発)技術、過酷な事故を経験したことによる安全性に期待が寄せられている」(安倍首相)

6/17「福島第一原発で事故が起きたが、それによって死亡者がでている状況ではない。」(高市 早苗自民党政調会長、のちに撤回発言)



福島第一原発の事故処理も終わらずに、事故原因さ え不明なまま総理はトップセールスで原発を海外に売 り込もうとしています。

一方で 6/6「私は原発反対なので、非常に心が痛む ところがある」(安倍昭恵総理夫人、国会内の講演で) などの発言があり身内から の現在の安倍首相の動き に対して反対の声が上がっています。

福島原発の事故では原子炉を輸出した GE に賠償責任はありません。原子力災害賠償法で製造者責任が免責されているからです。賠償責任は電力会社のみになります。

しかし、インドの原子力損害賠償法では、原発事故が発生した場合には、原子炉のメーカーにまで責任が及ぶことになります。トップセールスで日本の原発を海外に輸出した場合、協定の内容によっては日本のメーカー、国の責任として国民の税金が使われる可能性もあります。また、原子力協定を結ぶ場合には、放射性廃棄物の処理をどうするかも問題となります、ベトナムとの

交渉を行った際には放射性廃棄物を日本で引き取る ことも相談されているようです。使用済み核燃料の再 処理のシステムも維持・開発し続けることになります。

国内では、原発再稼働をめぐり、原子力規制委員会による原発の新規制基準が策定され 7/8 施行されました。早期の運転再開に期待を寄せる電力会社は新基準の施行に伴って規制委員会に安全審査を申請しています。

北海道電力泊 1-3 号機、関西電力大飯 3,4 号機と 高浜 3,4 号機、四国電力伊方 3 号機、九州電力川内 1, 2 号機と玄海 3,4 号機の 6 原発 12 基です。

電力会社の経営を維持するためにも海外に原発を 売り込むためにも、なるだけ早く国内で原発を再稼働 させたいということなのでしょうか。

7/21 の参議院選挙では、「日本を取り戻す」と訴え

早期に再稼働 をねらう原発 原発 会社 1 北海道 2 泊 電力 3 6 柏崎 東京 電力 刈羽 7 3 大飯 4 関西 電力 3 高浜 4 四国 伊方 3 電力 3 玄海 4 九州 電力 1 川内 2

ていた自民党が圧勝しました。投票率は低く多くの国民の無関心をよそに、国会のねじれが解消 されることになりました。新聞をみていると、政府はこれまでの集団的自衛権の解釈を変え、自 衛隊がこれまで以上にアメリカと協力し海外に出ていくことができるようにしていくようです。 憲法 (9条)を変える動きも加速します。

また、原発推進、国外輸出の動きがこれまでよりも強くなるようです。利益を重視、国民の人権を軽視し、命を軽視する国家に日本が変わっていきそうで非常に不安です。私たちが今まで以上に学び活動していくことが重要だとひしひしと感じます。

(※GE: 米国ゼネラル・エレクトリック)

本の紹介

(世話人 小南俊美)

参議院選挙を前後して、憲法の改定論議が盛んになっています。あらためて日本国憲法をみな おす機会として、「九条の会」の井上ひさしさんの思いがあふれた、2冊の絵本と、隠れたベスト セラーといわれている1冊をご紹介します。

①「井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法」(出版社:講談社) 作: 井上 ひさし 絵: いわさき ちひろ

発行日: 2006 年 07 月 価格: 1000 円(税込)(本体 952 円)

「憲法の大切さを子どもたちに伝えたい」作家・井上ひさしの新 しい試み。平和憲法の精神を表している「前文」と「第九条」を井 上ひさしが子どもにも読める言葉に「翻訳」、いわさきちひろの絵 とともに、憲法に書いてあることを心で感じる絵本。





②「けんぽう」のおはなし(出版社:講談社)

作:井上 ひさし 絵:武田 美穂

発行日:2011 年 04 月 価格:1365 円(税 込)(本体 1300 円)

日本国憲法の大切さを訴えつづけた、作家・劇作家の井上ひさし。生前、実際に小学生に語った「憲法」への思いを、武田美穂の温かいイラストで絵本になった。井上ひさしの一周忌、2011年4月9日に刊行された。

③「日本国憲法」(出版社:小学館)

作:「写楽」編集部

発行日:1982年4月20日初版第一刷発行

2013年7月15日第二版第三刷発行

価格:525円(税込) (本体 500円)

1982年、大きな活字と 29 枚の写真とともに、日本国憲法の原点を「読みやすく楽しく手に取れるように」と企画・発行され、これまで 37 刷 92 万部のベストセラー、ロングセラーの単行本『日本国憲法』を、軽装版にして、求めやすい価格で刊行したとのこと。

帯には「一家に一冊必備の『憲法』 永久保存版です!!」 とあるのが印象的。



纐纈厚先生(山口大学教授)の報告

※福岡県保険医新聞より転載です

福岡県保険医協会 非核・平和部 講演会 いま、日中韓間はどうなっているのか ~領土問題と歴史問題を中心に~

非核・平和部は5月18日、協会会議室で纐纈厚(こうけつあつし)山口大学副学長を講師にお招きし「いま、日中韓間はどうなっているのか〜領土問題と歴史問題を中心に〜」をテーマに講演会を開催し55名が参加した。

冒頭、お勤めの山口大学の地元で、早速出てきた、(第二次) 安倍ちゃん鰻頭(アベノミクス2%増量)を買わなかったと左右旗幟鮮明にされた。

アジアの人々が日本をどう見て、どう感じているのか、あるいは過去の歴史の視点に立ち、最も根源的な問題点を繙かれた。



中国でも、韓国でも、過去の日本の侵略に対する複雑な思いは確かにあるが、両政府は、民衆の憤りに対して常に抑制的に働いている。中国の愛国教育は、反日を煽っているのではなく、2度と侵略を受けないよう団結しようという点にある。

シンガポール (旧英領マラヤ) では、戦勝 (日本の敗戦) 記念館に、大きなキノコ雲の写真が掲げられており (1980年代)、"原爆は神からの贈り物"とのタイトルがあり、眼を疑った。日本軍により6万人の民衆が虐殺され、さらなる殺戯が止まってくれたという本当に感謝の気持ちからなのである。

戦前、東条英機ら陸軍中枢を代表とするアジア・モンロー派の台頭と昭和天皇、近衛文麿、山本五十六などの親英米派の対立があった。天皇は陸軍の独断専行を渋々追認していかざるを得なかった。戦後 GHQ は、徹底的な非武装国家を求め、体質改善を図った。英、蘭、中は、天皇制解体を求めたが、米国は、天皇制は使えると残した。九条と一章(1~8条)は、コインの表裏なのである。

日本国憲法は、帝国議会によって可決されたが、非武装中立、民主化という点に自民党は 1955 年結党以来、ずっと反対している。昨年4月に出された自民党改憲草案は、国防軍を置き、9条5項では、軍事裁判所(一般市民も対象)が設けられ、天皇は元首化され、最高司令官である大元帥となる。まさに神聖にして侵すべからずという帝国陸海軍への原点回帰なのである。厳戒令、微兵令が出され、軍事機密保護法により一般市民は容易に監視を受ける。

安倍晋三は、森、麻生ら現在の自民党中枢の一派の積極的な動きにより、政、財、官界の代弁者となるべく推された。就任後の閣僚らの靖国参拝や「中国の桐喝に屈しない」という奔放な発言など、新アジア・モンロー派と言えるような資質に対し、独紙シュピーゲルは"日本の事しか考えない言葉で武装した新国粋主義者"と評し、世界はある評価を下している。

纐纈氏は、日中韓など東アジアにおける平和のネットワーク構築に絶えず傾注され、中国、韓国には何十回も講演に呼ばれ、慎重な言葉を選ばれるが、事実や本質にズバリ切り込まれた。

「日本固有の領土という表現は?」との質問に、日本しか使わない固有の言い方で世界は全て、 ××年から××により○○国の領土としか表現しないと答えられた。(非核・平和部長 和田文夫)

【投稿】バンダジェフスキー博士の講演についての感想

(世話人 北川喜久雄)

7月12日に木下黄太氏が企画した講演会に参加した。録音、動画撮影が禁止された状況で演者の話を聞いた。演者は放射性物質の人体への影響について病理学的に検証した研究者である。セシウムが内臓に蓄積して組織変化を起こすと主張している。心臓、肝臓、腎臓、血管系などの病理変化をスライドで示していた。医学学会のような雰囲気であった。ロシア語で講演し、逐次通訳で進められたが具体的な内容は省略する。



死亡した患者さんの臓器のセシウム濃度を測ってそれぞれの臓器の病理変化を検証している。 放射性セシウムを組織切片上で証明していない。

病理変化がセシウムによるものである根拠を示していない。他の放射性核種の影響についてコ

メントがないなど、疑問点は多い。ただ、放射性物質による内部被曝を問題にしたことは評価できる。彼の病理切片に疑問をもつ研究者も多く、科学的な研究であるか疑問である。

広島、長崎の原爆症患者さんの病理組織を検討した論文はあるが、 α 線の飛跡をとらえた所見がただ一つある。放射線の組織への影響については癌患者の統計の蓄積があるが、放射線の影響を直接証明したものではない。福島第一原発事故で放射性物質が拡散し、多くの被曝者が発生し、死亡者もいるが、解剖はされていないだろう。放射線の人体への影響についての研究で日本は世界のトップを走るべきであるが、現実はその逆で、放射線の影響がないことを強調したがっている。なお木下黄太氏については様々な批判はあるが、放射線の影響を世間に問うていることは評価できる。科学的、医学的考察に欠ける点はある。

【投稿】日韓反核医師の会交流の旅(報告)

(世話人代表 岡本茂樹)

7月13日~15日、反核医師の会(PANW)主催の日韓反核医師の会の交流を目的とした 韓国訪問団の一員として訪韓してきました。いずれ詳細な報告集が出ると思いますが、その前に 簡単な報告をしておきたいと思います。

訪問の目的は、①韓国東海岸の月城(ウォルサン)原子力発電所の視察、②韓国「核のない世界のための医師会(反核医師の会)」(DAN)との交流でした。

韓国には、現在4か所21基の原発があります。韓国の東海岸に北から蔚珍、月城、古里、西南部に霊光の4か所です。その他に試運転中4基、建設中1基、計画6基があり、韓国は、世界的にも「原発大国」の一つといえるでしょう。

13日(第1日目)は、熊本の藤野糺先生と福岡空港から釜山空港入りし、関西からの本隊と合流し、慶州東国大学の金益重(キム・イクジュン)教授(微生物学)の案内で慶州東方の月城原発1号基を視察しました。月城1号基は、1983年に建設された韓国でも最も古い原発で、現在は運転停止中で、稼働を10年延長するかどうかを審査中とのことでした。 原発の担当者から「韓国の原発は日本より安全な技術システムを持っている」「韓国は日本より自然エネルギーの資源に乏しく、原発は韓国の経済発展には不可欠です」という説明を受けた後、日本の原発視察ではあまり例のない、集中コントロール室をガラス張りで覗ける前室やタービン建屋まで入って説明を聞くことができました。(ただし写真撮影は厳禁。)視察後、案内してくれた金教授は、次に訪韓されたときには、月城原発1号基は、韓国で最初の廃炉になっているはずと、決意を語ってくれました。慶州は、韓国の京都といわれる古都で観光地ですが、ソウルから遠い地方であり、核廃棄物の貯蔵施設の受け入れを最近決めたそうで、日本の原発が地方に集中していることと同様の事情があるそうです。日本の原発が地方に集中していることと同様の事情があるそうです。・韓国の原発会社は1社のみの独占ですが、原発利権もあり、また原発建設に関する汚職の噂もあるそうです。現地自治体への経済的優遇制は、日本ほどではないがあるそうです。

14日(第2日目)は、午前中慶州の観光をして、昼食後にKTX(韓国新幹線)でソウルに向かい、ソウル大学医学部で韓国反核医師の会(DAN)の皆さんと交流しました。

交流は、はじめに青木克明先生(広島)の福島原発事故による健康被害についての報告があり、

次に金益重教授から韓国の原発周辺の健康障害について報告を聞きました。韓国は全国的な癌登録制度があり、それに基づいて政府が10年間原発周辺の健康障害の調査をした結果、問題はないと発表しました。しかし一部学者が、同データを改めて解析した結果、甲状腺癌については有意差があることを発見し、現在問題になっている、ということでした。最後にカン・ヘジョンさんから、福島原発事故における放射能汚染とその影響について報告がありました。3人の報告の後、意見交換を行いましたが、熱心のあまり大幅に時間を延長し、終了後韓国料理を囲んで食事をしながら交流を深めました。

その交流会で、現在のDANの共同代表である金正凡(キム・チョンボム)氏と禹錫均(ウ・ソクキュン)氏、前共同代表である金益重氏と、今後の交流について意見交換をしました。

最初に、PANWとして今後DANとこれまで以上に交流を深めたいと提案し、DANの方も 異存はないとのご返事をもらいました。具体的には、2014年秋に福岡で開催予定の「反核医 師のつどい」にDANの代表団を招聘し交流することを提案しました。この提案は、韓国に最も 近い県である福岡での「つどい」開催の意義を高めるためにあらかじめ福岡から提案していたも のですが、DANとしても積極的に受け止めたいとの返事をいただいたので、今後の実行委員会 で具体化を進め、PANWおよびDANとも連絡を取っていきたいと思います。

DANは、毎月運営委員会を開催し、年2回のセミナーを開催していますが、そのセミナーに、PANWが参加することが可能であるという提案もあったので、「つどい」開催の準備過程で再度 訪韓することも必要かと思いました。今回の訪韓PANW・DAN交流の旅は、東アジアにおける反核兵器・反原発医師の運動を拡げる上で大変有意義なものであったと思います。今後は、原発を有する台湾/中国との交流にもつながることを想定したいものです。

15日(第3日目)は、ソウル市内の観光を行い、金浦空港で関西へ帰る本隊を見送り、その 後仁川空港から福岡空港に帰り、私の初めての韓国旅行が終わりました。

最後に、慶州では仏国寺や古墳公園など、またソウルでは景福宮や仁寺洞(その傍に三・一朝鮮独立運動で独立宣言が読み上げられたタプコル公園がある)などを観光しました。その詳細は省きますが、案内をしてくれた通訳の女性が大変歴史に詳しく、とくに古代の日朝交流の歴史から豊臣秀吉の朝鮮侵略、そして日本帝国主義の朝鮮植民地化や朝鮮戦争などの知識を交えての観光案内には大変驚きました。韓国との核問題での交流の前提として、これらの日朝間の歴史、歴史認識問題を十分議論しておくことが重要であると再確認しました。今後の会活動に生かしていきたいと思います。

韓国反核医師の会 DAN の設立趣意書 (2012 年 2 月設立総会。現在メンバーは約 100 名ほど) 韓国通信: <核ない世界のための医師会> (反核医師会) 創立を提案します。

2011 年 3 月 11 日の福島核発電所事故は、「安全できれいな」核エネルギーという神話を一瞬にして崩壊させました。歴史上最大規模の核発電所事故が起き、膨大な量の放射能物質が大気、土地、水へと広がっていきました。チェルノブイリ事故以後、まだ一世代が過ぎ去りもしないのに私たちはもう一度、人類が作り出した最も危険な物質に、ごく普通の人々が無防備にさらされる事態を見守っています。

特に、事故地域の近隣に住んでいた子供たちは、膨大な量の放射線にさらされました。私たちは、

これから少なくても数十年もの間、この身の毛のよだつ事故の結果と向き合うことになるのです。医師である前に社会の構成員として、私たちはこの途方もない悲劇を前に話す言葉を失います。

良心ある科学者として、私たちはすべての放射線が人体に有害だという事実を知っています。私たちは、とても少ない量の放射線でも致命的な癌を起こすことが可能だという米国国立科学アカデミーの 2006 年研究発表を信頼し支持します i)。 少ない量の放射線は身体に有益だという話は作り話にすぎません。よって、医師として私たちは放射性物質を作り出すすべてのことを直ちに中断しなければならないと考えます。私たちは政府と政策立案者たち、すべての研究者たちに、核エネルギー使用を直ちに中断することを勧告・要求します。

第一に、すべての核発電を中断して再生エネルギー体制へ転換しなければなりません。福島事故とチェルノブイリ事故が見せたように、核発電は根本的に安全を保障できません。人類が持ったどんな技術でも、暴走し始めたこの火を消し止めることができませんでした。自然はとても長時間をかけて、この火を冷やすでしょうが、その時まで途方もなく多くの生命が灰に変わるでしょう。

核発電は危険なだけでなく経済的でもありません。この事実は一部の進歩的な学者たちだけの意見ではありません。いくつかのヨーロッパ政府と、さらに保守的な言論でさえ、これを一部認めています。核発電に注ぎ込む途方もないお金を再生エネルギー開発と普及に切り替えれば、私たちは放射能と気候温暖化が奪い取る数多くの命を救うことができます。こういう転換が大々的になされるならば、今日、人々の健康に大きい悪影響を及ぼしている失業と貧困問題を解決することにも役に立つでしょう。

第二に、すべての核兵器開発を中断しなければなりません。特に全世界で核兵器を最も多く保有・開発してきた米国をはじめとして、主要先進諸国がまず直ちに核兵器を廃棄し核開発を中断しなければなりません ii)。 韓国政府も例外ではありません。1970年代だけでなく、去る2004年にも韓国政府は国際原子力機構の査察によって、核兵器技術を開発してきたという事実の指摘を受けたことがあります iii)。

第三に、人類は核エネルギーを利用して病気を診断し、治療する方法を開発しました。医師として私たちは、こういう諸技術が今後もしばらく数多くの生命を助けるのに利用されなければならないと思います。しかしこのために、今、各国政府が天文学的なお金を注ぎ込んで競争的に行っている核開発と研究を正当化することはできません。このことは、全体の核エネルギーの利用の中の極一部に過ぎません。

私たちは、診断用・治療用放射線でさえも、とても注意深く利用されなければなければならないと警告します。先に指摘した通り、このような放射線も人体に有害なのは同じことです。よって、一部医療機関の無分別な放射線乱用は中断されなければなりません。放射線使用は、避けられない場合に限り、被曝を最小化する安全装置などを用意した状態でのみ、なされなければなりません。私たちはこういう放射線使用でさえ、代替できる新しい技術が開発されることを期待します。核エネルギーに対する執着を捨て、核エネルギー開発・維持に使われる財源を代替技術に投資し、研究を支援するならば、これも不可能ではないでしょう。

私たちは医療関係者として、科学者として、何よりも良心的な世界市民の一部として、核エネル

ギーの使用が完全に中断される時まで、必要なすべてのことについて共に行動するでしょう。私たちは、全世界の反核運動の一部になるでしょう。

私たちと共に行動しましょう。

2011年12月

核ない世界のための医師会(反核医師会)提案者一同

"反核医師会"提案者

コ・ビョンス、キム・ヨンジン、キム・イクチュン、キム・ウイドン、キム・ジョンボム、 キム・ジングク、キム・ヒョンソン、ノ・ワンホ、ノ・デメン、パク・ヨンシン、ペク・ド ミョン、ペク・ハンジュ、ソン・ガンウク、ソン・ハクソン、ウ・ソクギュン、イム・サン ヒョク、チャン・ホジュン、チョン・ヒョンジュン、チュウ・ヨンス、チェ・キュジン

"反核医師会"はこれから、以下のような仕事をします。

●研究: 放射線が人体に及ぼす効果に関する研究など

●調査: 核施設と放射能物質安全性の検証など

●教育: 核発電と放射線の危険性と関連したフォーラム開催など

●広報: 核発電と放射線の危険性、国際基準、安全対策、エネルギー転換の可能性など

●連帯: 国内外の反核団体および環境諸団体との共同活動

【投稿】グローバル原発企業誕生

(世話人 北川喜久雄)

安倍総理は原発輸出を成長戦略の一つと考えて、インド、トルコなどと原子力協定を結んだ。電力会社と、原発メーカーの利益を考えたものだ。国際原子力開発株式会社(グローバル原発企業)が設立された。北海道電力株式会社、東北電力株式会社、東京電力株式会社、中部電力株式会社、北陸電力株式会社、関西電力株式会社、中国電力株式会社、四国電力株式会社、九州電力株式会社、株式会社東芝、株式会社日立製作所、三菱重工業株式会社、株式会社産業革新機構が出資し資本金2億円の会社である。産業革新機構には政府が財政投融資特別会計から出資(2520億円)し、27社の民間企業も出資(140億円)している。27社は以下の企業である。

旭化成株式会社、大阪瓦斯株式会社、キヤノン株式会社、シャープ株式会社、株式会社商工組合中央金庫、住友化学株式会社、住友商事株式会社、住友電気工業株式会社、ソニー株式会社、武田薬品工業株式会社、東京電力株式会社、株式会社東芝、トヨタ自動車株式会社、日揮株式会社、株式会社日本政策投資銀行、パナソニック株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社日



立製作所、丸紅株式会社、株式会社みずほコーポレート銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱ケミカルホールディングス、三菱重工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、GEジャパン株式会社、JX日鉱日石エネルギー株式会社の27社だ。官民一体となって原発を輸出する計画である。

カリフォルニア州サンオノフレ原発2号機と3号機

の蒸気発生器の配管が破損し運転を停止している問題で三菱重工が損害賠償を求められている。 輸出先はどの国であろうと儲けたらいいのか。原発に何らかのトラブル、過酷事故等が発生した 時、その補償はどうなるのか。当然、国際原子力開発株式会社がするであろう。その補償の原資 をどうするのか。電力会社と政府が関与しているので、電気料金と税金で賄うことになる。福島 第一原発事故の補償金がどれくらいになるか検討もつかない状況で、海外の原発まで補償すると 末恐ろしくなる。本来国民に再分配されるべき税金が海外の原発に流れ、国民生活を圧迫するだ ろう。

また、使用済み核燃料を日本が回収する約束をして他国の原発メーカーと競争するかもしれない。核の平和利用で原発を売ることは、核兵器の核拡散に協力することになる。

5 月末の国連科学委員会は福島事故では住民の健康被害は無かったと表明し、日本政府も健康被害はないとしている。甲状腺のガンや腫瘍は丁寧に調べてたまたま見つかった(スクリーニング効果)と放射線の影響を否定している。事故の被災者への補償金を少なく見積もり、健康被害もない、日本の原発は再稼動も出来ると世界に宣伝すれば、原発を買ってもらえると思っている。グローバル原発企業は国民の健康や経済負担を食い物にし、安倍総理の言う国益など考えず、企業益のみ追及する。

2013 年「第24回全国反核医師のつどい in 北海道」のご案内



9月21日(土)~22日(日)札幌市で開催されます

(1日目)

- 教育講演「核兵器廃絶への道すじ」
 - 1 黒澤 満氏(大阪女学院大学教授)
 - 2 中村 桂子氏(長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)
- 懇親会 チェロ演奏 土田 英順氏(元日本フィル首席チェロ奏者)
- 記念講演「世界に学ぶ脱原発 -地球の未来のために」 村田 光平氏(元スイス大使)

(2日目)

- 分科会
 - 1「日本における放射線被害 -過去・現在・未来-」 小講演:本田 孝也氏(長崎県保険医協会理事長) 木村 真三氏(獨協医科大学准教授) 西尾 正道氏(北海道がんセンター名誉院長)
 - 2 「日米安保体制と憲法問題、核抑止論にもふれて」 小講演 浅井 基文氏(元広島平和研究所所長) 神保 大地氏(さっぽろ法律事務所弁護士) 影山 あさ子氏(ジャーナリスト)

2014 年「全国反核医師のつどい in 福岡」に向けて準備を開始

2014年11月1~2日に開催予定の「反核医師のつどい in 福岡」に向けて、7月26日に実行委員会準備会が開催されました。「反核医師のつどい in 福岡」の成功に向けては、すでに県保険医協会、歯科保険医協会、福岡県民医連に協力おねがいが出されており、7/26準備会では、現地実行委員会の体制、開催までのスケジュール、企画内容などを話し合いました。今後は第1回実行委員会を8月23日に開催し、会場、企画内容などを検討していくことになりました。「2014年反核医師のつどい in 福岡」の成功に向けて、ご協力をお願いします。

核戦争防止・核兵器廃絶を求める福岡県医師・歯科医師の会 (第25回定期総会の開催案内)

日時 : 8月24日(土) 15時~20時 会場 : アクロス福岡(607会議室)

記念講演:梅林 宏道氏(ピースデポ特別顧問・長崎大学核兵器廃絶研究センター長)

演題:「核兵器のない世界へ」 ~世界の現状と日本~

※皆さまのご参加お待ちしています。(記念講演の時間16時~17時30分)

****梅林宏道氏のご紹介****



NPO法人ピースデポ特別顧問 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)センター長

ご略歴:応用物理学を専攻し東京大学数物系大学院博士課程修了。工学博士。大学教員などを経て1980年よりフリーに。さまざまな平和、軍縮、人権問題に取り組まれています。

2012 年 4 月、R E C N A 設立時にセンター長に就任。核軍縮・不拡散議員連盟 (PNND) 東アジアコーディネーター。近著に「非核兵器地帯」(岩波書店、2011 年)、監修・執筆「イアブック:核軍縮・平和 2012 - - 市民と自治体のために」(ピースデポ・高文研、2012)。



日時:8月20日(火)~25日(日)

10:00~19:00 (最終日は17:00)

場所:アクロス福岡 2 F

(福岡市中央区天神1丁目1番1号)

主催:「平和のための戦争展ふくおか」を成功させる会

福岡市博多区住吉5-17-14-202

T E L 092-473-4207

入場無料

<特別展示>

漫画家 西山進 作品展

<ジョイント企画>

8月24日(土) 16:00~17:30

反核医師の会総会記念講演会

「核兵器のない世界へ」梅林宏道 氏

◆ 「戦争展ふくおか」へのカンパのお願い (開催期間:2013年8月20日~8月25日)「戦争展ふくおか」がアクロス福岡で開催されます。メインテーマは『憲法・基地・核』です。※カンパのご協力をお願いいたします。⇒郵便振替 01700-6-40875 m(_)m

(編集後記)

7月21日に行われた参議院選挙は大方の予想通り、自民党の圧勝で幕を閉じました。

「原発問題」が争点にならなかったのは、残念というよりは"不思議"です。国民は、経済を、 目先の利益を優先させたのでしょうか?

一瞬にして命や生活や一切合切を奪ってしまう核(核兵器や原発)の廃絶を願ってやみません。 8月6日「広島原爆の日」に、米国の映画監督オリバー・ストーン氏が広島を訪ね、「米国の原 爆投下を批判し、核兵器の廃絶」を訴えました。

反戦映画でも有名な同監督が(しかも米国の)、広島の地で「核兵器廃絶」を訴えたことの影響は少なくはないでしょう(8月9日の長崎原爆の日にも訴えられます)。

さて第 19 回目の、「平和のための戦争展 ふくおか」が 8 月 20 日から開催されます(\sim 25 日まで)。テーマは"憲法・基地・核"です。

8月24日には、総会と記念講演『核兵器のない世界へ:世界の現状と日本』(講師:梅林宏道氏)が開催されます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。(事務局S)

事務局から5つのお願い

1. 入会のお願い

核戦争防止・核兵器廃絶を求める福岡県医師歯科医師の会の役割は益々重要になっています。「入会のしおり」をご活用いただき大いに呼びかけをお願いします。

2. 会費納入のお願い

会の運営、活動を継続・発展させるためには会費の納入が大きな力になります。厳しい 情勢ですが、毎年の会費納入をよろしくお願いします。

3. 署名のお願い

核兵器を廃絶する署名は国連にも積み上げられ大きな力になっています。患者さんや地域の皆さんからの一筆一筆が核兵器を廃絶する確かな取り組みです。

4. カンパのお願い

核戦争防止・核兵器廃絶を求める福岡県医師歯科医師の会の運動への理解を多くの人に 広げるとともに会を支えていただくカンパを呼び掛けていきましょう。

5. ニュースレターへの投稿のお願い

反核医師の会の機関紙「ニュースレター」の役割は重要です。会員の皆さんや多くの方 からの投稿で内容をさらに充実します。投稿をお願いいたします。

投稿は Fax:092-483-0435 へ "ニュースレター用" として送信してください。